



はくさんちゅう

柏三中だより 教育目標：豊かな心をもって 自ら学び鍛える生徒

三中魂 (挑戦・忍耐・協力)

柏崎市立第三中学校 〒945-0845 柏崎市新赤坂 1-2-10

☎23-2821 E-mail: daisan@kenet.ed.jp

第341号

令和7年8月27日発行



夢を持つ者の強さ

校長 須藤 泰司

早生品種・葉みみのりの新米が売り出されたというニュースがありました。さっそく学校給食でも出されると聞き、とても楽しみにしています(8/29 予定)。例年以上の暑さを乗り越え見事に実ってくれた稲穂に感謝し、いただきますと思います。新米が出る頃になっても米価の高止まりが続くと予想されています。日本の主食を守ることを、自給率を高めることはもちろん今の割合を維持すること、米農家の暮らしの安定を図ることを国策としてやっていくことが必要だと、私個人は考えます。主食が自国でまかなえないということは、国防上の大きな課題でもあります。瑞穂の国と言われた日本。数千年にわたって栽培しても連作障害を起こさない奇跡の作物「米」を大事にする心を育てていかななくては、と感じる今日この頃です。

休業明け集会から 全校生徒が久々にそろい、生徒たちの元気な様子を見て本当にうれしかったです。体育館は暑かったのですが、全校生徒が整然と並び顔を上げている姿勢を見て、三中生の心根の素晴らしさを感じました。夏休み中の大会結果を受け表彰を行いました。陸上やソフトテニス、卓球と多くの入賞者が出ました。暑い暑い夏に自らを鍛えた成果です。向上しようという強い意志がないとくじけてしまう暑さでしたから、本当によく頑張ったのだと感動しました。これこそ、3年生たちから受け継いだ三中魂なんだと、私は誇らしかったです。

夏休み明けの最初の訓話として、みんなが無事に再会できたことは、当たり前ではない、そのことに感謝したいと述べ、9月に迫る体育祭に向けて2つのことを話しました。「テストが間もなくありますが、学力は点数で表されることが多く、みんなにとってつらいこともあるでしょう。体育祭では、皆さんが今までに身に付けてきた人間力が表現される、とても大切な場面となると思います。それを図るのは数字ではありません。次の2つをそのことを測る物差しにしてください。100mを走るのに18秒の人と15秒の人がいたらどっちが早いですか(問いかけに回答有)。そうですね、15秒の人が早いですね。しかし、いつもは20秒かかる人が18秒で走った、いつもは13秒で走る人が15秒だったという、背景があったらどうでしょうか。印象が変わりますね。単純にタイムでは測れないものがあります。体育祭に向けて、皆さんの全力を出してみてください。人との比較ではない、あなたの全力、それを出そうとする人が尊いのです。2つ目は、得意を生かすということです。暑い夏休み、すでに体育祭に向けて頑張ってくれているリーダーたちがいます。大きな声で歌ったり、体を自在に使ってダンスを表現したりする人がいます。一方では黙々と応援パネルの絵に魂を吹き込む人がいます。つまり、自分の得意を思いっきり表現することに価値があるということです。走るのが速い人、大きな声が出せる人、仲間に優しい声をかけ励ます人。それぞれの得意があります。全員に同じものを求めるリーダーでは、きっと集団はいい方向に行かないでしょう。団員それぞれの良さを存分に発揮させた軍が、きっと大感動の体育祭を制するのだと期待します。特に、3年生たちをお願いします。皆さんが身に付けた人間力が存分に表現される体育祭になることを楽しみにしています。」

全国学力・学習状況調査結果から：毎年全国の中学3年生の実態を把握し学習指導・生活指導に生かす目的で、全国学力・学習状況調査が実施されます。本年度の結果は右の通りで、3年生の実態は、国語で5pt新潟県平均を下回り、数学で4pt下回りました。昨年と結果が異なりますので、毎年課題は異なることを実感しています。現3年生の課題をしっかりと分析し、生活実態と合わせて、今後の学習指導や生活指導に生かしてまいります。3年生の学習状況調査の回答を分析していくと、大変興味深いことが分かります。数学について、測られた学力実態は表のとおりですが、学習状況調査から以下のことが見えてきます。

全国学力学習状況調査結果

(令和7年4月に実施:対象中3生徒)

国語：県平均	54	本校	49
数学：県平均	46	本校	42

「**数学の勉強は好きですか**」 肯定的評価の割合 全国 53.8 県平均 53.6 **本校 58.7**

「**数学の授業の内容はよくわかりますか**」 肯定的評価の割合 全国 70.3 県平均 73.4 **本校 81.0**

「**数学の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役立つと思いますか**」 肯定的評価の割合 全国 75.2 県平均 76.1 **本校 80.9**

数学に関して、上記の3つの項目は、県・全国と比較して有意に高いと言えます。3年生たちは、他と比較して**数学が好きな生徒が多く、授業の内容がよくわかり、その学習内容は社会に出たときに役に立つと考えています。**とても喜ばしいことで、真剣に授業に臨む普段の3年生の様子そのものです。ただ、結果が伴わないということは、やはり「授業中できた気になって満足してしまう」ことが予想されます。学校は仲間とともに協働的に学ぶ場ですが、学力の定着には「一人になって何が身に付いたかを確認する」家庭学習による、確認や繰り返し定着を図る時間が欠かせません。まさに、教育は学校と家庭が同じ方向を向いて働きかけることで最大の効果を発揮するという良い例ではないでしょうか。

さて、3年生たちの人となりを示す、興味深い設問がありましたので勝手な考察を含めて紹介します。

「**将来の夢や目標を持っていますか**」 肯定的評価の割合 全国 67.5 県平均 65.0 **本校 77.7**

「**自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか**」 肯定的評価の割合 全国 79.2 県平均 81.1 **本校 93.6**

夢をもって日々を快活にたくましく生きている。そして、その夢の実現に向けては、自己主張をするばかりではなく多様性を尊重し、考えを広げ深めより確かな結論を求めていく姿が浮かんできます。大変臍目目に見たところがあり恐縮ですが、保護者、地域の皆様とともに、彼らの未来を応援していきます。